

2023（令和5）年さけます来遊状況（第3報：11/30現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「奇数年級」にあたる
- 来遊数は9万尾〔前年同期比：35%、2021（令和3）年同期比：12%、平年*1同期比：1%〕、1989（平成元）年以降で最も少ない
- 採卵数は、全道で1,545万粒と計画数の10%にとどまる

*1：平年とは、1989（平成元） - 2022（令和4）年の奇数年の平均値

11月30日現在、北海道のカラフトマス来遊数は9万尾〔前年同期比：35%、2021（令和3）年同期比：12%、平年同期比：1%〕となりました。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は奇数年級にあたり、その来遊数は2007（平成19）年以降減少しています。11月30日現在の来遊数9万尾は、1989（平成元）年以降で最も少なくなりました（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

単位：万尾					
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2010(平成22)	731	731	2011(平成23)	553	553
2012(平成24)	221	221	2013(平成25)	325	325
2014(平成26)	158	158	2015(平成27)	210	210
2016(平成28)	890	890	2017(平成29)	123	123
2018(平成30)	683	683	2019(令和元)	109	109
2020(令和2)	473	473	2021(令和3)	76	76
2022(令和4)	26	26	2023(令和5)	9	-
平年				639	639

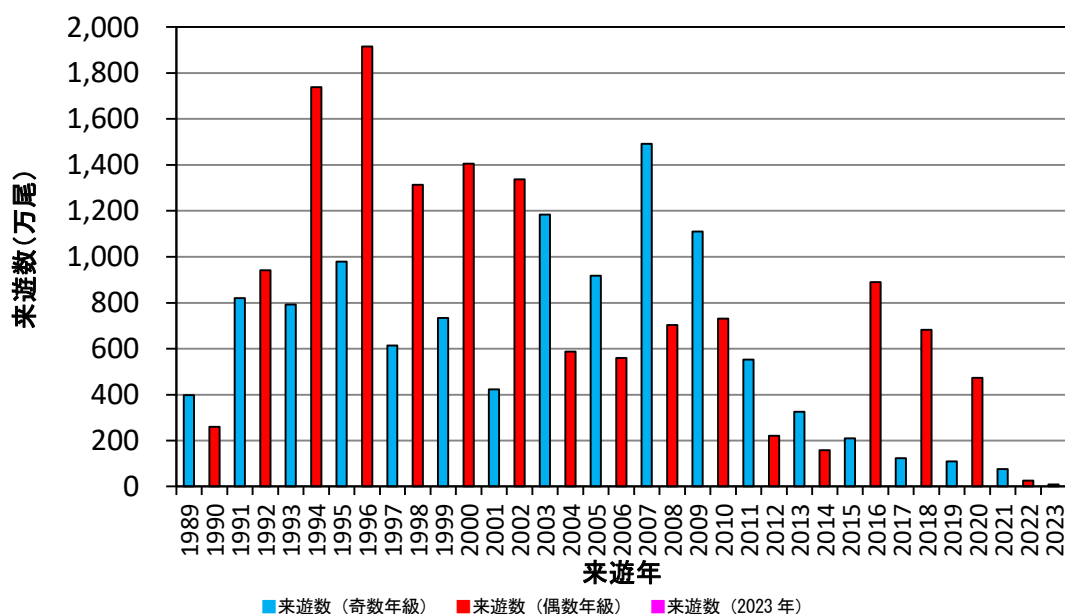


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2023年は速報値。

来遊数を地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では7万尾〔前年同期比：31%、2021（令和3）年同期比：10%、平年同期比：1%〕、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では2万尾〔前年同期比：52%、2021（令和3）年同期比：67%、平年同期比：2%〕となりました。日本海側および太平洋側ともに1989（平成元）年以降で最も少ない来遊数となりました。

カラフトマスの河川捕獲数は、11月30日現在で3万尾〔前年同期：60%、2021（令和3）年同期比：14%、平年同期：5%〕となりました（表2）。

採卵数については11月30日現在で1,545万粒と前年同期の55%となっており、2023（令和5）年度の採卵計画数1億5,690万粒の約10%にあたり、河川捕獲数が極端に少なかったことが大きく影響しました。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

単位：万尾					
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2010(平成22)	87	87	2011(平成23)	59	59
2012(平成24)	26	26	2013(平成25)	48	48
2014(平成26)	26	26	2015(平成27)	24	24
2016(平成28)	76	76	2017(平成29)	18	18
2018(平成30)	92	92	2019(令和元)	22	22
2020(令和2)	73	73	2021(令和3)	21	21
2022(令和4)	5	5	2023(令和5)	3	-
			平年	66	66